



商 工 会 報

あ ち

第 69 号

発行 阿智村商工会
電話0265-43-2241

編集 会報編集委員会

印刷 龍共印刷(株)

URL: <http://www.achimura.com/> メール: info@achimura.com



阿智の夏祭り煙火大会

名物の尺玉、スターマイン 観衆を魅了

花火部長 福岡昭一



恒例の阿智の夏祭りが七月二十八日、天候に恵まれ盛大に開催されました。

開会式が役場前で行われ、夕暮れと共に、二十団体による、保育所みこし、子供みこし、大人みこしが威勢よく駒場の街を練り歩きました。

阿智川河畔、阿智公園での、名物の尺玉、超特大スターマインなど二五〇〇発が夜空を彩る煙火大会は、多くの観衆を魅了しました。

また火をテーマにした火まつりでは、虫送り神事、御水渡り、火振り、火落としと祭りを盛り上げました。

この阿智の夏祭りには、春先から村、自治会、商工会、公民館はじめ村民団体の皆さんが、それぞれの持場で尽力され、その結果がすばらしい祭りになったものと思います。

そして、この祭りのメインであります煙火大会の成功には、商工会の皆さん、商工会事務局の皆さんのなみな

観客の皆様にお聞きしました

● 昼神温泉の伊那華に泊まりに来ました。思わぬ花火が近くで見ることが出来ました。

(名古屋市三浦ご夫妻)
● 大きなスターマインがとてもよかったです。

飯田でタクシー会社経営されている後藤様(女性)
● 治部坂別荘会で見に来ました すばらしい一言に尽きます。

(豊田市石黒様)
● これから先の花火にますます期待が持てます。

治部坂別荘会 (会長浜松市宮崎様)

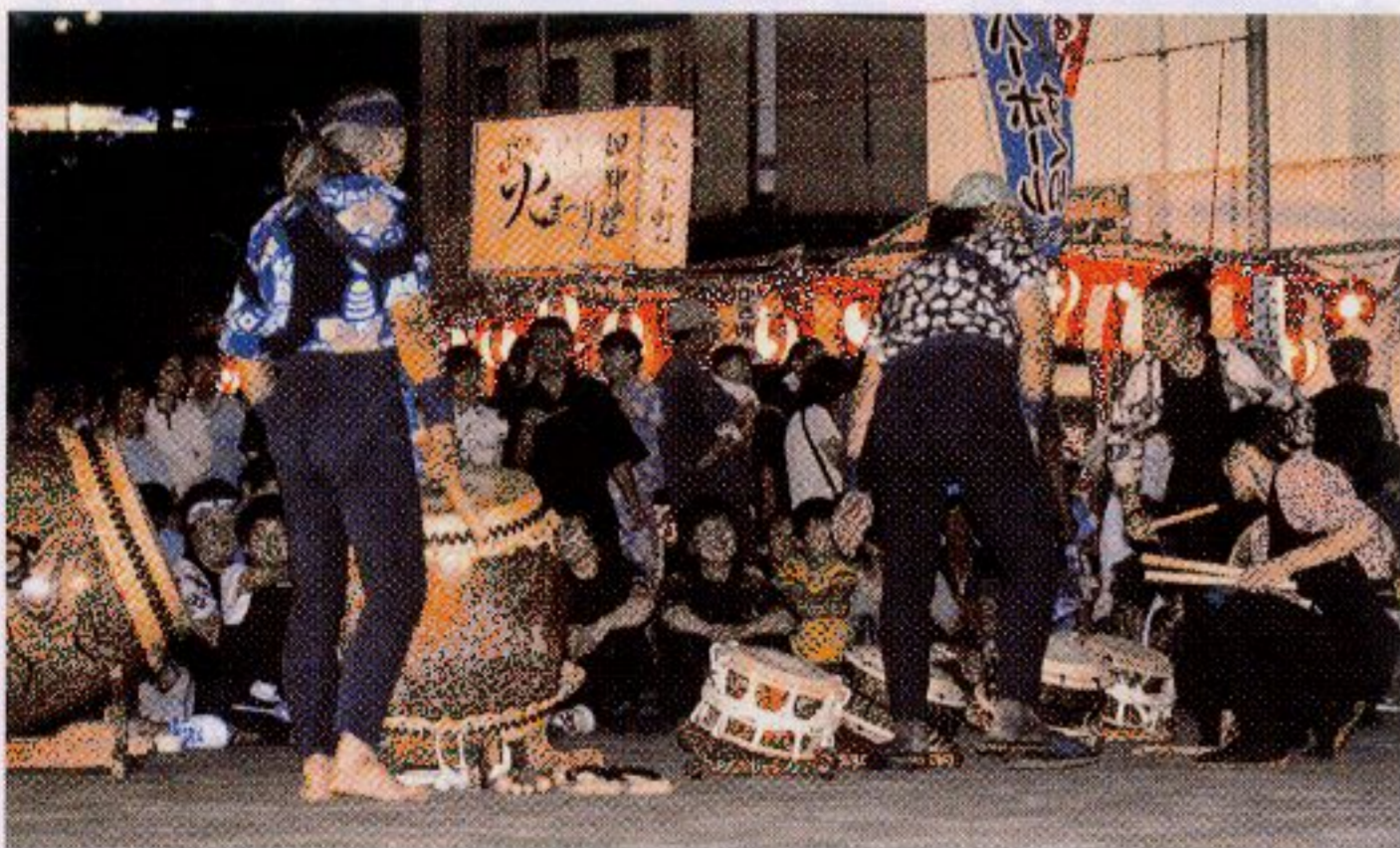
● どこかでお会いしたことがあります。現金屋さんの知り合い

浪合近藤様 (女性)

久しぶりです。以前飯田の建材会社にお勤め(田中と知り合いの)浪合大沼ご夫妻との思い出話に花が咲き、花火の感想を聞くのを忘れてしまいました。

今年度阿智川の観覧席が台風により流され急遽林屋材木店様下の駐車場となりましたお店屋さんと同じ場所でも大勢の方でにぎやかでした。

聞き手 折山 登・田中俊充



駒場公園の様子

第47回通常総会

新理事2名を選任

五月二十四日、阿智村商工会館において、岡庭阿智村長をはじめ多くの来賓をお迎えして盛大に開催されました。役員補欠選任により、新たに二名の方が本会の理事として選任されました。



片桐 奨悟
青年部

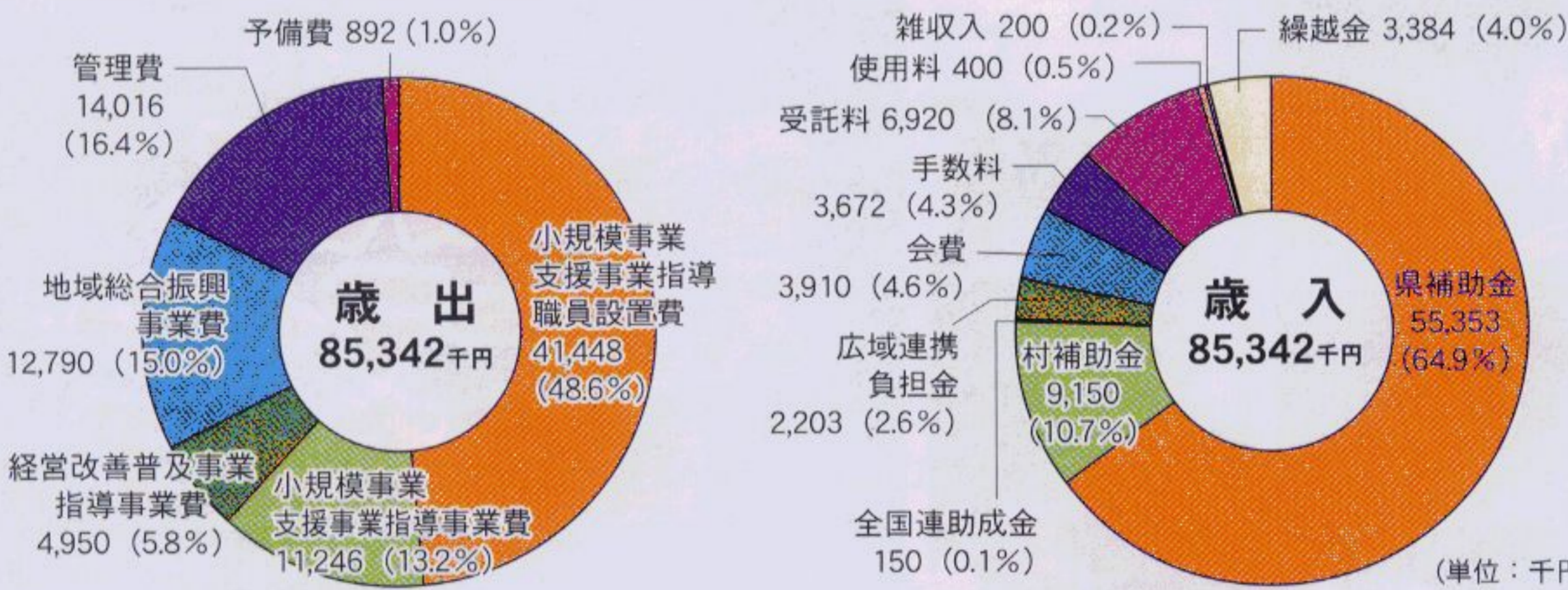


伊藤 義寛
浪合支会

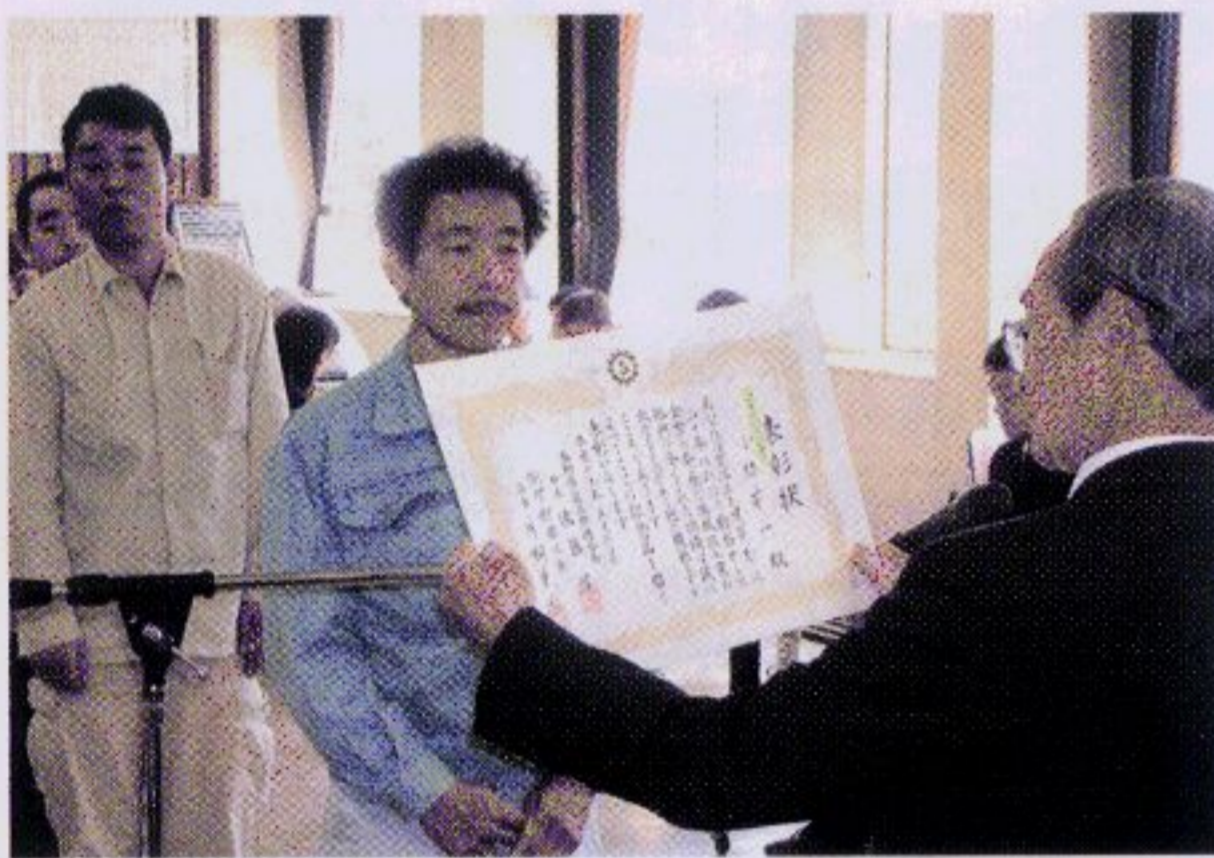
平成19年度 予算概要

西部地区広域連携商工会の幹事商工会として、これまで以上に会員の皆さんや地域社会に存在感を示し、小規模企業の支援機関としての信頼をより確実に獲得していくための事業計画と収支予算が承認されました。

平成十九年度予算
予算総額八五、三四二千元
(対前年比九六・八%)



【商工会員数】
平成19年4月1日現在
301名



賞状を授与される小林芳一さん

〈永年勤続従業員表彰〉

阿智村の振興発展にご尽力された皆さんが表彰を授与されました

- 勤続三十年
実原ほのゑ (藤倉電工)
- 勤続二十年
小林 芳一 (南信土木建築)
竹村 典和 (小笠原鉄工)
伊藤 友信 (湯元ホテル阿智川)
- 勤続十五年
中山美恵子 ()
河合真知子 (阿智開発公社)
- 勤続十年
山内 龍彦 (国民年金健康保養センターひるがみ)
水上 純次 ()
熊谷 三男 (阿智モーターサービス工場)
中田 啓司 (小笠原鉄工)
- 勤続十年
紺野 利文 (湯元ホテル阿智川)

- 川戸 一徳 ()
- 河口 裕貴 ()
- 三浦さおり ()
- 白沢 裕次 (ヘブンスそのはら)
- 清水 透 ()
- 原 洋一 ()
- 水野 達男 ()
- 熊谷 直樹 ()
- 加藤 晋 ()
- 古林 美絵 ()
- (昼神温泉グランドホテル天心)
- 代田 智之 ()
- 小川原久雄 ()
- 加藤 秀樹 ()
- 村沢 利明 ()
- 宮下 節 ()

- 勤続五年
- 田中 悦子 (システム管理)
- 浅岡 幸生 (小笠原鉄工)
- 廣沢 雅美 (ホテル恵山)
- 原 忍 ()
- 白井 春香 ()
- (昼神温泉グランドホテル天心)
- 松下 美樹 ()
- 美濃部彰子 ()
- 塩澤 健 ()
- 宇野 喜厚 ()
- 井口 吉子 (ホテル恵山)
- (敬称略・順不同)

西部四商工会連携事業 スローライフ・スローフード事業が始まりました

西部地区広域連携商工会(幹事・阿智村商工会)では、地域の食や文化を尊重し精神的な豊かさを重視する「スローライフ・スローフード」の理念を地域産業の活性化に生かそうと、昨年より国内先進地の那須高原視察を行うなど準備を進めてまいりましたが、去る6月27日4村の商工会員ほか阿智村役場、西部地区ふるさと振興局、阿智開発公社などのご協力を得て実行委員会の設立会合を開きました。

当日開催した信州大学根本先生、名古屋大学西川先生による記念講演のなかで「スローフードは見本や銘柄ではなく現物取引が基本。人と人とのつながりをどうつくっていくかという意識を念頭に事業に取り組んでほしい」との助言を頂きました。今年度、具体的には、各村ごとにワーキンググループを設け、「こだわり」ある農産物づくりを行っている生産者の訪問調査→事業に賛同する商業者のリストアップ→生産者と商業者の懇談会→セミナー開催やフードコンサルタント派遣、一流シェフを招いての地元食材を使った「食談会」の開催などを計画しておりますので、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

青年部活動について思ふ

青年部長 片桐奨悟



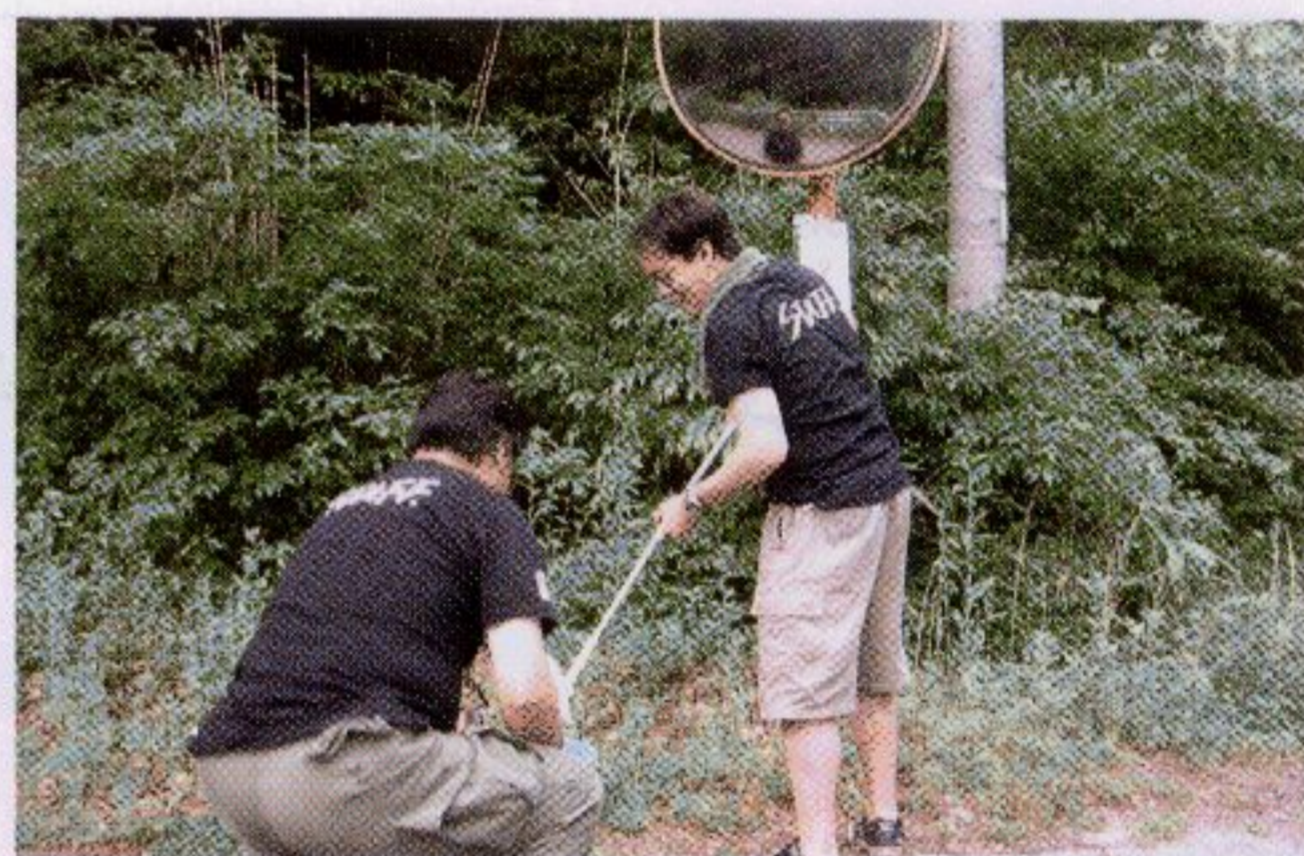
青年部

今年度より青年部長をさせていただいております片桐です。嫁一人子供は二人です。今後ともヨロシクお願いいたします。

さて、今年度の活動のひとつとして奉仕活動ということ。浪合地区のカーブミラー清掃及びゴミ拾いを行いました。さあたくさんゴミを拾ってやろうとゴミ袋を用意していきましたが、ほとんどゴミらしいゴミも空き缶もなく浪合地

区のみなさんサスガです。スバラシイ!! 過酷な作業の後は残念ながら退部してしまう方の送別会、新しく入部していただく方(ナント女性!!)しかも美人!!)の歓迎会、そして自分たちへの慰労ということ。浪合の『車屋』さんにお世話になりました。(炭火でいただく川魚、焼肉、みなさんオススメですよ。)その勢いで二次会は治部坂にある『宿り木の湯』さんへおじゃ

まして飲み続ける者、食べ続ける者、湯につかる者、それぞれ有意義なひとときを過ごし行事も大成功となりました。あつ行がないのでこの辺で...



浪合地区でのカーブミラー清掃

救急法を学ぶ

あなたは、大切な人を救えますか!?

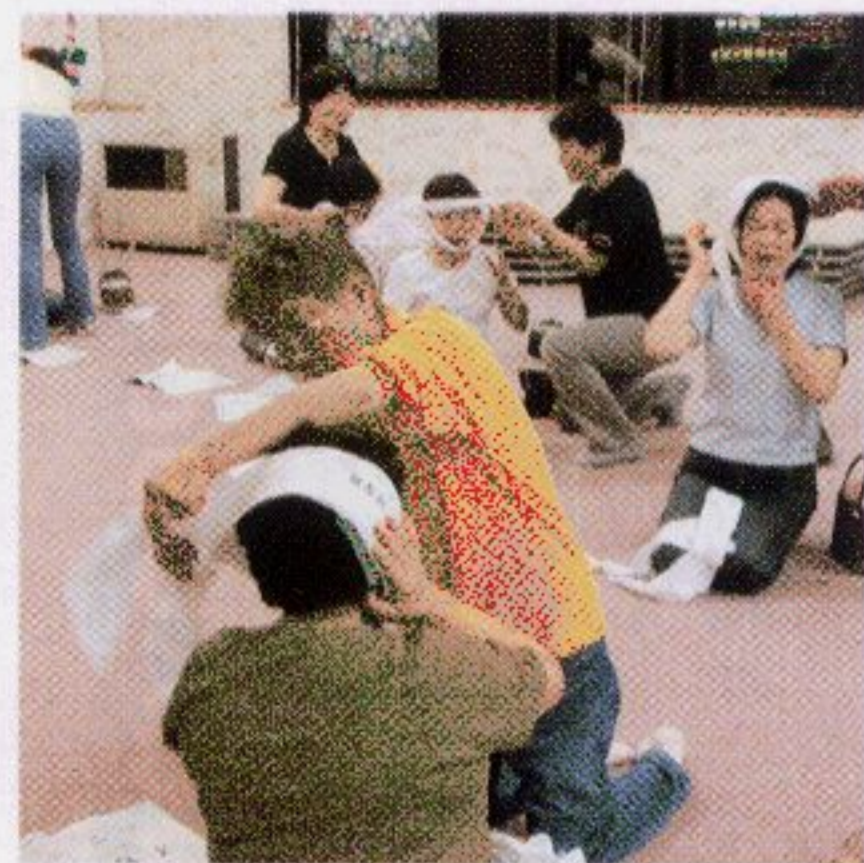
女性部副部長 田中千恵子



女性部

女性部の事業として「救急法」についての勉強会が、役場の大下さんをお願いして行われました。

昨今、地震、台風などの災害や交通事故等々で、毎日の生活が脅かされています。そんな中、いざという時自身自身を守り、急病人やけが人を正しく救助して、医師や救急隊員に引き継ぐまでの救命及び応急の手当てを学びたいの思いで、この勉強会を計画しました。



真剣 ~女性部の皆さん~

大下さんには、分かりやすい説明、実技をして頂き和気

あいいいの中、真剣に取り組むことができました。特に「心肺蘇生法」「止血の仕方」「三角巾を使つての「包帯の仕方」などが頭に残っています。最後に「AED」の使い方を実物を使つてやってみる事ができ、大変勉強になりました。内容豊富な中から大切に即役に立つ事を教えて頂いた訳ですが、今回限りにしないで今後も女性部の事業の中に取り入れ、皆で正しい知識と技術を身につけ、いざと言う時に役に立てたら、すばらしいことだと思えます。

日帰りの視察研修 「地元で買ひ物、集めたポイントで納税！」

ポイントカード加盟店会長 勝野和雄

八月二十二日阿智村役場、商業サービス業部会、ポイントカード加盟店会員の関係者十名が参加し、朝七時に温泉、スキー、野沢菜で知られる野沢温泉村へ向けて出発。途中昼食を取り午後一時には野沢温泉商工会へ到着しました。

視察の目的は、地域で元気に頑張っている全国的にも珍しい野沢温泉スタンプ会「ゆきゆくカード」戦略の視察研修です。

野沢温泉商工会会議室において、野沢温泉村総務課税務係長、野沢温泉スタンプ会会長、商工会職員の方より、野沢温泉スタンプ会「ゆきゆくカード」は村内約五十の店などで買ひ物をして集めたポイントで村民が役場窓口にて村税、使用料等を納付できる制度であることの説明を受けました。

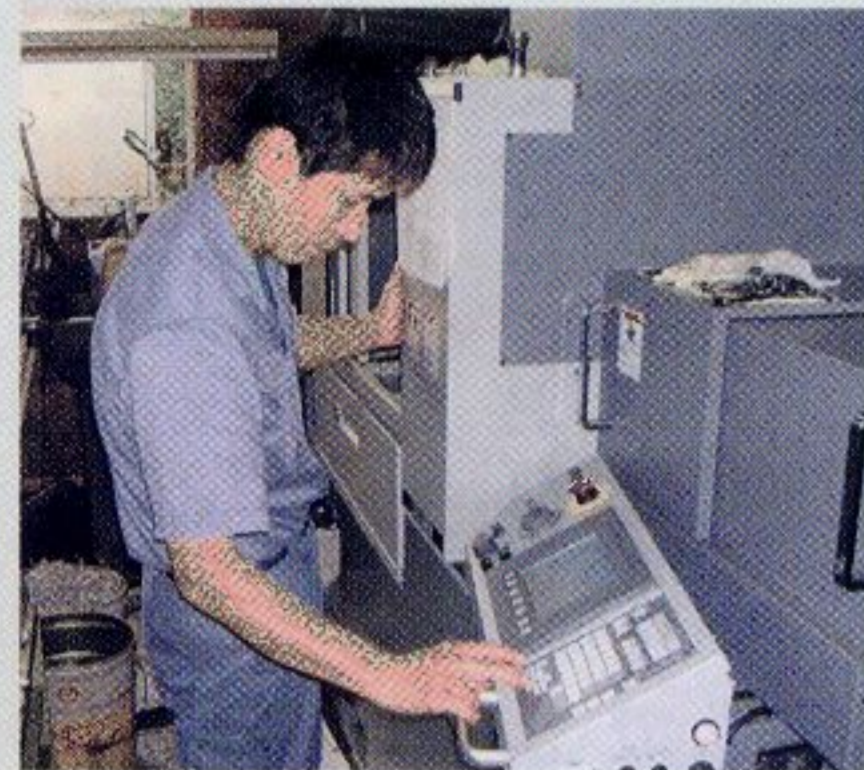
同様のサービスは、合併しない宣言で注目を集めた福島県矢祭町がすでに開始しておりそれを知ったスタンプ会が村へ協力を申し入れ実現したそうです。四月より商工会の商品券も生まれ変わり村議会議員、村職員の皆



参加者 説明を受けるポイントカード

料金を支払えるかと確認し、ありがたいと思えます。またこの様な制度が広がっていけば地域の活性化、納税率のアップに繋がるかもしれません!

様からご理解をいただいて報酬や給料の一部について商品券での現物支給がされているとの説明もありました。ちなみにポイントは百円お買上にポイントたまる仕組みでスタンプ会が行うイベント、加盟の小売店、飲食店などで使え、公共料金、税(住民税、軽自動車税など)の納付も行えるとの事です。ポイントは納税ができる利点は、村は税収アップが見込めること、店は利用者が増加売上げアップが見込めること、説明もあり、村総務課税務係長はポイントでの納税は少額だが納税意識の改革に役立つとの事でした。最近ではどの店もポイントを発行し貯めたポイントで買ひ物が出来るのが当たり前ですが、ポイントで税金や使用



新設備を操作する息子さん

当社は精密機械の部品製造加工業を営んでおりますが、六割が多摩川精機株とその関連会社の仕事です。インターネットにより窓口を広げ、取引拡大・売上増につなげる方向へもつて行きたいと願う「長野ものづくりネット」に登録しました。

昨年初め頃より引合いの電話が入るようになり、今まで五、六社と具体的な交渉があったと思います。その中で、兵庫県神崎郡の会社との取引が始まりました。この会社はタバコの自動販売機や銀行で使う金銭関係機器を製造しておりますが、郵政民営化の流れで郵便局の一部が銀行化するとのことで大量の需要があり、大変忙しいとの事でした。一度、納品の時にその会社の部品製造部門を見学させて頂

きました。ロボット化も進んでいて工場従業員の三割が正社員、残りはパート・派遣社員、だそうです。仕事量は安定している感じで、二、三ヶ月先の発注予定も示されており、発注ロットは300〜600個で月に二、三回出るものもあり、10000〜15000個の先行生産を行っています。仕事面で大変取り組みやすい会社であり、今後も積極的に取引したいと思っております。増量の折衝をしています。

ここ数年、ステンレスや銅など素材の値上がりがあるものの、大量に材料を購入する大手とそうでない零細企業ではこの点でも見積りとの段階で既に大変不利となります。したがって今年に入って新たに何度か見積もりましたがこうした影響もあり単価的に厳しく、成約に至らないケースもありました。そこで当社では本年五月に二十年余使った機械を出し、最新鋭のNC自動旋盤(シチズンA-20)を購入し、生産性を向上させました。材料費も幾分落ち着くと思えますので、積極的に仕事を取っていきたく思っています。

長野ものづくりネット通信 (有)オノガワ精機



企業探訪・会員紹介 No.60

トンキラ農園農事組合法人

住 所 阿智村浪合1520番地 4
 代 表 者 岡本美幸
 業 務 内 容 体験農園の食事処
 定 休 日 毎週月曜日
 営 業 時 間 10:00~18:00 ☎ 47-2040

浪合村では、平成元年より「教育立村(教育・文化・環境がキーワード)」として村づくりを進め、その概念を農業の現場に応用した取り組みとして平成2年からトンキラ農園の整備が始まりました。その年、築100年以上の古民家を移築し本格的に活動を開始して、休遊地対策や農林地の保全、農村の生活文化伝承に取り組み、最盛期には年間20,000人が訪れるほど活況を呈していました。

一方、岡本さんは製図会社に就職された後、地形図を書く仕事に20年以上携わっていましたが当初からトンキラ農園とは関わりがありましたので、その縁で東京在住であった奥様との運命的な出会いがあり、平成15年からは代表者としてご活躍されています。毎年9月下旬からは、岡本さんが採る地元きのこ(松茸、シメジ)料理と紅葉が一番のおすすめになります。なかでもシメジの味噌漬けは滅多に戴くことが出来ない岡本さんイチ押し一品だそう



です。そして、古民家の囲炉裏で地元キノコ料理を召し上がった日の秋の夜長は、浪合の「日本の星空」(環境省認定)を観望されて、故郷を再発見するひと時を過ごされては如何でしょうか。

ベコニアが今年も届きました 6年目の交流

商業部と阿智中学校の生徒さんが商店街を明るくしようと、今年もベコニアのプランター60個を育ててくれました。

6月26日、生徒さんのメッセージを添えて商店街へ届けられ、夏休みの追肥作業の折には、商店とのメッセージ交換もあり交流が深められています。



指導カルテ No.26

公益通報者保護法とは

近年、事業者内部からの通報を契機として、国民生活の安心や安全を損なうような企業不祥事が相次いで明らかになりました。このため、そうした法令違反行為を労働者が通報した場合、解雇等の不利益な扱いから保護するとともに、事業者側では内部での通報処理の仕組みを整備することにより、自浄作用を高め、事業者外部への通報による風評リスクを減少させる等により法令順守経営を強化するために施行されました。

<http://www5.cao.go.jp/seikatsu/koueki/index.html>

シリーズ

我が家の秘蔵写真

下中屋ふとん店
小池正寛さん所蔵

第44回

小池正寛・知加子夫妻からいただいた秘蔵写真は特別古い写真ではありませんが、先代小池正さんが苦勞の末一代にて築いた下中屋ふとん店新店舗開店時の奥様との写真です。



店の歴史は昭和二十八年下中屋製綿所開業に始まります。農業のかたわら「さしもの大工」でもあった正さんは「指物師」でありながら細かい仕事

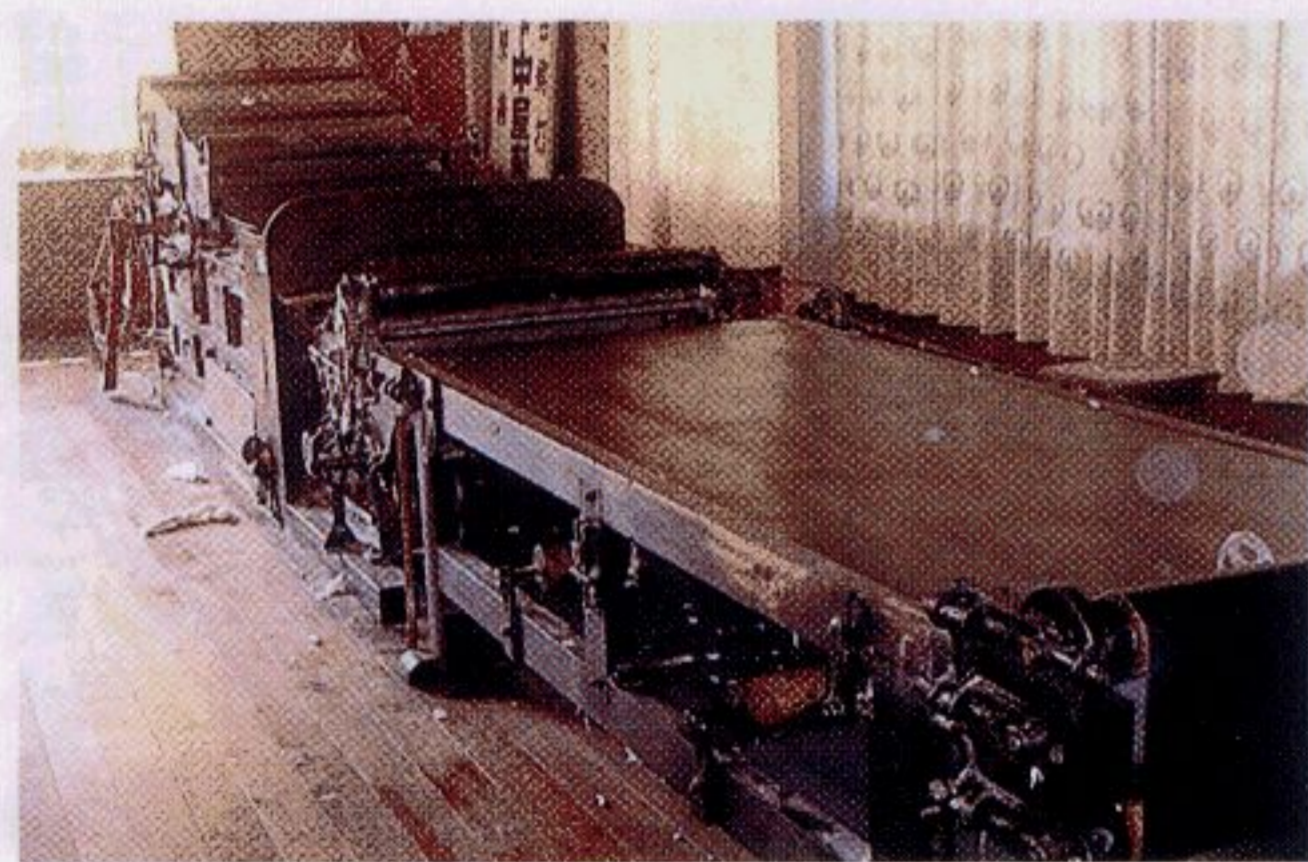
が嫌いで、当時村が関わっていた製綿所の閉鎖がキツカケた布団をお返しする仕事をし、軽くフンワリした布団を車に載せて店まで持つて来てくれる時代ではないので、各地に取扱所を置きそこで受付と引渡しをしました。最盛期には伍和・下条・清内路・浪合・平谷・山本・久米・箱川・など広範囲で、そこから自転車、後にオートバイに山ほど布団を積んで製綿所と往復し

で製綿に携わることになります。高額な製綿機を購入し、駒場上町河原淵（今の小池産業さんの裏手）に工場を建てました。同時に自宅玄関前に立てたのが下の写真の大看板です。左下に書かれた「会地村 駒場」が時代を感じさせます。当時の面影を伝えるものはこの看板しかなく店の宝物として大切に保存されています。



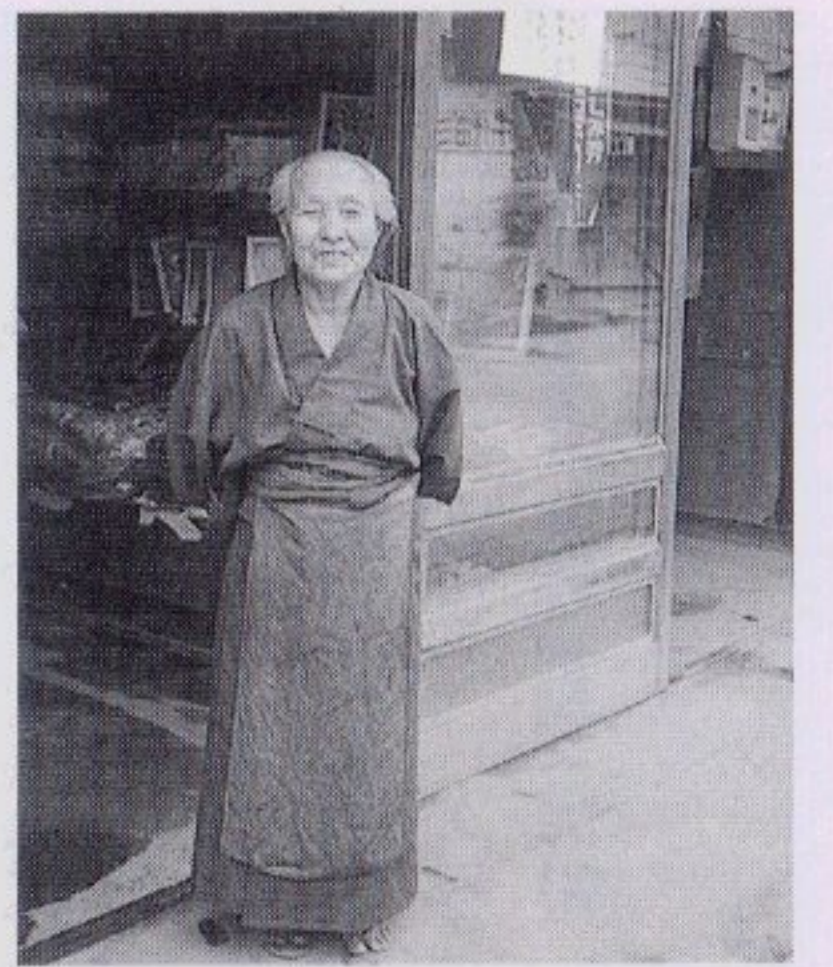
創業当時の大看板。店主とお孫さん

ました。今のクリーニングチェーン店と同じ仕組みがすでに出来上がっていた訳です。当時の忙しさは大変なもので、広い製綿所一杯に綿が溢れ、「朝起きてから夜寝るまでずっと綿の山の中で生活していた」と言うほど凄い量があったそうです。また、綿の仕事は風や火を嫌うため、夏は蒸し風呂のように暑く、冬は暖を取れず寒い中で我慢して仕事をしていたという苦勞話も伝わっています。



45年以上使っている製綿機

正さんの母親「みあき」さんを店先で撮った写真（右）と、布団の運搬に初めて購入した自動車と共に撮った知加子さんの写真



たことです。しかしその都度製綿機を購入し仮設工場での操業を経ながら製綿を続けました。現在稼働中の機械は三十六年入替えた物で、すでに四十五年以上経っています。交換部品も無くなり何度も部品を作つてまで稼働し続けてきた機械は先代の苦勞を伝える機械として大切に使い続けておられます。

水害を克服した昭和三十八年、上町に「下中屋ふとん店」として初めて店舗を構えた当時の写真が下の二枚の写真です。その後昭和四十五年メリヤス工場開設。昭和五十年大橋そばに工場を移転新築と事業を拡大してきました。一方でふとんカバー普及による布団の洗濯需要の減少。また羽毛や化繊布団の普及による古綿打ち直し需要の減少で布団関連商品の小売にも力を入れざるを得なくなってきました。昭和六十年、砂田一五三号線パイパス開通に合わせ現在の場所に新店舗を開店したことも時代の流れに沿った決断でした。秘蔵写真は幾多の苦勞を乗り越えてたどり着いたその新店舗での奥様との写真です。そして正さんはこの撮影の一年後七十一歳でお亡くなりになりました。

支会だより

会地支会

会地支会副支会長
倉田英行



古くから会
地のシンボルの
に親しまれ、
支会が管理を

続けてまいりました阿智城山公園の環境整備が、駒場自治会、駒場まちづくり委員会、会地支会の連携、各団体の協力により実施されています。

昨年度は、看板のライトアップ、駐車場及び池の整備、周辺の植樹、東屋の改修等が行われました。

本年度は、夏祭りに間に合う様に、池とトイレの水源、配管を新設しました。七月十六日、前日までの台風で林道が荒れてしまい車が進入できず、資材の運搬も困難ななかで多数の皆さんの参加を得て、急な山の中や林道沿いに全長千五百メートルの配管が完成しました。
池にも絶え間なく水が流れトイレも使い易くなりましたので、一度登って駒場のまちを眺めてみて下さい。

※訂正とお詫び

前回 68号 記事 訃報欄 佐々木眞寛さんのお名前が間違っております。謹んでお詫び申し上げます。
誤 直寛 ↓ 正 眞寛

18年間を振りかえって

河合伊津子



商工会を退職いたしましたして、早くも5ヶ月が過ぎました。私が平成元年の1月に商工会へお世話になった時はベテランの職員の方ばかりでしたので、何もわからない事ばかりの私でしたが皆さんにカバーしていただき勤めることができました。

又、300余りの商工会員さんと接しご指導をいただきまして、私にとって阿智村を知り、阿智村に根付いたこの18年間だったと思います。一緒に楽しませていただいた女性部活動では経営者の奥さんの知恵とがんばりとたくましさを見せていただき、とても良い勉強になりました。

今は主人の会社で農産物加工の仕事をしておりますが、まだまだ新米ですので余裕のない毎日を過ごしております。見かけましたらお声をかけていただけたら幸いです。

最後になりましたが、在職中に会員皆様方からいただいた、温かいご支援とご厚情に対して心よりお礼申し上げます。

何ものにも代え難い2年間

県議会事務局議事課 真岸 光



早いもので阿智村商工会から異動になって、半年を迎えようとしています。

2年間の商工会での生活は、中山前会長さん、片桐会長さんをはじめ役員、会員の皆さんに支えられ、何ものにも代え難い貴重な経験となりました。特に、商工会合併は県内で初めてという大きな課題でしたが、皆さんのおかげで順調に手続きを進めることができました。また、まちづくりや西部地区広域連携などの行事に関わったことなど、公私ともにお世話になった皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

先日、夏まつりに行かせていただきました。手づくりの活気に溢れたお祭りに、あらためて阿智村の力強さを感じました。

これから商工祭の準備も始まるでしょうか。阿智村商工会が地域の期待と信頼のもと、益々ご発展されますようご期待申し上げ、ごあいさついたします。

信金だより



飯田信用金庫
駒場支店
倉田 由香

皆さんこんにちは。飯田信用金庫駒場支店の倉田由香と申します。今年の六月の異動で、松川町にあります大島支店より転勤してまいりました。現在信金では数少ない女性の営業係として駒場地区を担当させていただいております。

自己紹介をいたします。自宅は飯田市桜町で、両親と祖母、弟の五大家族です。学生時代を大阪で過ごし、信金に

新職員紹介

気持ちを新たに

濱島 由美



平成十二年より、あちポイントカード

加盟店会の事務員として勤めてまいりましたがこの五月から、商工会の臨時職員として勤務させて頂いております。

少しでも皆様のお役に立てようより一層努力してまいりますので、今後共ご指導よろしくお願いいたします。

編集後記

入庫しまして今年で四年目になります。学生時代ソフトボールに打ち込んだこともあり、現在は信金野球部のマネージャーとして、選手と共に毎週末汗を流しています。
駒場支店に配属になり、早くも三ヶ月が経とうとしています。今は一人でも多くのお客様と出会い、お話すること阿智のことをもっと知りたいたいと思いますし、女性の営業ならではの対応を心掛けたいと思います。ご預金・ご融資、その他お茶のお相手まで何でもお気軽にお声を掛けて下さい。どうぞよろしくお願いいたします。

会報の発行が一ヶ月遅れとなってしまう大変申し訳ございませんでした。
長年勤められた記帳指導職員の河合さんが退職され、県派遣職員の真岸さんも県へ帰られました。お二人には大変お世話になりました。ありがとうございます。また臨時職員として濱島さんが入られました。宜しく。次号は十二月末予定です。情報提供お願いします。